

最優秀の中村選手を表彰

東京都溶接協、若手人材育成コンクール

東京都溶接協会（横田文雄会長）は3月8日、東京・足立区の都立城東職業能力開発センター（城東センター）で第8回若手人材育成溶接コンクール（高校生コンクール）最優秀賞の中村翠選手をはじめ、城東センターから出場し入賞を果たした

3選手に表彰状を授与した（競技結果は2月22日付既報）

優勝の中村選手（都溶協会会長賞、都知事賞、産報出版賞）、6位優良賞の吉澤あずさ選手（都溶協会会長賞）、7位優良賞の山崎敬介選手（同）の3人に横田会長が賞状を授与。

横田会長は「皆様のような溶接士の方がもろ活躍を支えてくれる。活躍をしていただきたい」とエールを送った。城東センターの

佐藤栄所長は「本校から念願の優勝者を輩出することができたのはとても光栄なこと。選手の手頑張りと指導をしてくれた先生にも御礼



前列左から横田会長、中村選手、佐藤所長と後列左から山崎選手、吉澤選手

を申し上げる」と述べた。

最優秀賞の中村選手をはじめとした3人は、すでに同センターの溶接課程を修了。1月から都内の製造企業で溶接を生かして働く中村選手は「最初優勝の一報を聞いた時には信じられない思いだったがとてもうれしい。この経験を生かしていきたい」と述べた。

第8回コンクールはコロナ禍の影響から期日と会場を分散して開催。昨年12月から今年1月までの間に工業高校の生徒や都内2カ所の職業能力開発センターから72選手がエントリーをした。